



岩五だより



令和7年2月12日

「2月・如月（きさらぎ）・・・立春も過ぎ・・・」

2月3日に立春を迎え、暦の上では「春」と、なりました。とはいえ、先週から「今冬一番の寒波到来!」と、体感的には真逆の空模様、「真冬の大冒険」です。保護者・地域の皆様におかれましては、お変わりなくお過ごしでしょうか。いつもかわらぬご支援・ご協力をいただきまして感謝申し上げます。

さて、2月も中旬になり、生徒の皆さんが今の学年で登校する日数も残り30日を切りました。どの学年も「次のステップ」につながる学習活動に精を出しています。

1年生は、“キャッチ・ユア・ドリーム”というプログラムを通して、将来の仕事選びにつながる「現在（いま）」の過ごし方や考え方などを学ぶ授業に取り組んでいました。普段はなかなか見られないくらい鋭いまなざしをゲストティーチャーに向けて質問をし、「未来の自分」に思いを馳せているように見受けられました。

2年生は、“鎌倉校外学習”を終えたばかりです。「いざ鎌倉へ!」と、学年の廊下に貼りだされてから2か月余り、班で話し合っただけのルートは無事まわりきることができたでしょうか。昨年度の都内巡りで反省を生かし取り組んだ鎌倉は、さらに来年度の修学旅行につながっていきます。「修学旅行の集合場所（東京駅）」も確認し、気持ちも少し「最上級生」に近づいたのでは?と思います。

6組（特別支援学級）は、東京都バスケットボール・ポートボール大会に参加し、どちらも入賞し賞状をいただくことができました。やり切って、疲れ切って、ホッとして、帰りのバスの中では爆睡だったことはいまでもありません。皆さんお疲れさまでした。それぞれの学年等の詳しい内容は、裏面をご覧くださいと思います。

そして、3年生。1月末までに推薦入試をほぼ終え、今週から本格的に都内の高校の一般入試が始まっています。「義務教育を修了し、自身で未来を考え、選んで進む路」です。今までと違って、悩んだり間違えたりつらくなったりして当たり前です。誰もがこれを乗り越えて「大人」になっていきます。ぜひ、“全員の進路が決定するまで”みんなで気持ちを一つにして頑張ってください。そして、最高の卒業式を楽しみにしています。今年度の文化祭・合唱コンクール、そして「校歌斉唱」。感動しました!「小岩第五中学校 校歌」は「小岩五中生だけが歌える“特別な歌”」です。ぜひ、卒業式でもあの感動を保護者の皆様にお届けできることを願っています。

それぞれの学年の最後の学期も残すところわずか。この一年の集大成となる残り一か月を、次の舞台でそれぞれが輝けるように、そして、今いる仲間たちと一緒に過ごせる最後の時間を大切に過ごしてほしいと思います。

今回は初めて「学校だより」を担当させていただきました。時のたつのは早いもので、小岩五中に赴任し間もなく2年が過ぎようとしています。来たばかりの頃は校舎内で迷子になりそうで子どもたちに何度も助けられました。また、地域・保護者の皆様にもたくさん支えていただきました。何もわからない私にやさしくご享受いただきましたこと感謝いたします。二十四節気において、「立春」は新年の始まりとのこと。今後も様々な“節目”を機に、改めて目標など見直す機会にできればと思います。

今後とも、より一層のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

江戸川区立小岩第五中学校
副校長 松村 麗